

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら四日市富田教室		
○保護者評価実施期間	8年 1月 1日		8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	38	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	8年 3月 1日		8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりの個性や気持ちに寄り添っていること。	利用者が今何をしたいと思っているか、何を考えてるか考えているか支援員一人一人が考えてくれている。	先輩的支援員より新人支援員へのアドバイスなど。
2	個別支援により、出来ること苦手なことへの把握に努めている。	出来ることは伸ばし、苦手なことは丁寧な支援に努めている。	専門的支援に繋げる。
3	向き合うことに困っている支援員がいると、他の支援員が交代して、補い合うことにより、利用者自身の自立にもつながっている。	支援員同士が、意識的に補い合っている。	支援員への、日ごろからの感謝への言葉がけ。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部運動プログラムなどに出れない	外出等での行動が危険な利用者への配慮。	安全な空間や少人数対応など工夫次第では可能性あり。
2	発達段階の差が激しいため、全体でのプログラムが難しい時もある。	分けてできるとよいが、なかなか自分の番まで待てない。	仕切りなどして、空間を分けるなど工夫が必要。
3	外部関連機関への視察や研修などに出れない。	支援員同士の遠慮や情報共有の苦手さもある。	全員が交代で出る計画を立てる。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	こぼんはうすさくら四日市富田教室		
○保護者評価実施期間	7年 10月 1日		8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	8年 3月 1日		8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	8年 3月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後デイサービスの利用者が、まだ少ないため、きめ細かい支援が行える。	宿題や学習への時間を設けて、利用者が意識的にやれる環境作り	宿題がない利用者に対しても、学習に取り組むための資料作り。
2	プログラム内容など、利用者一人一人のレベルに合わせた内容づくり。	利用者一人一人の苦手なこと得意なことを把握して、その子に合ったプログラムを考案している。	個別支援を行い、統一した内容での取り組みにおいて、把握に努めている。
3	社会性やコミュニケーションにおいて、特に支援が必要と思われる利用者への個別の支援を行っている。	事象があった際には、すぐに支援員が、1:1で向き合い、どうすればよかったかを一緒に考え、次回に生かせるように努力している。	学校等関連機関との情報共有により、統一した支援を行っている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実際に授業が今どこまで進んでいるのか、把握が難しい。	宿題の内容だけでは、授業内容の把握ができない。	担任の先生などとの意見交換に努める。
2	外部での運動プログラムの提供	外部への外出への注意が必要な利用者もみえるので、全員の参加が難しい。	安全な空間や少人数での交代など検討する。
3	外部関連機関への視察や研修に出れない	支援員同士の遠慮や事後の共有の難しさ。	交代制で行くなど、あらかじめ全員が行く体制を決める。